

公益財団法人ヤマト福祉財団 ステップアップセミナー

「利用者の働く力を伸ばす職場づくり」 ～工賃アップを実践するための工夫と意識改革～

このステップアップセミナーでは、知的障がいのある利用者の能力を伸ばすためのノウハウや、わかりやすい方法で仕事に取り組める職場環境づくり。そして、仕事を分析し生産性を高める「ライン・工程方式」の方法を提供します。どの事業所でも取り入れて実践に移すことができます。また、ヤマト福祉財団が主催する実践塾で学んだ塾生の事例も報告します。知的障がい者の能力向上にご関心のある方は、ぜひご参加ください。



参加費
無料

広島会場 ▶ 6月8日(土) ワークピア広島 2F桜

山口会場 ▶ 6月15日(土) 宇部興産ビル 401・402会議室

プログラム

時間		広島会場 6月8日	山口会場 6月15日
10:00		オリエンテーション	オリエンテーション
10:10	50分	「知的障がい者の職業能力向上(仮)」 菅野 敦	「知的障がい者の職業能力向上(仮)」 菅野 敦
11:00	60分	「働く力を伸ばし工賃を高める実践(仮)」 新堂 薫	「働く力を伸ばし工賃を高める実践(仮)」 新堂 薫
12:00	60分	昼食休憩	昼食休憩
13:00	90分 (各30分)	事例報告 (社福)ゆたか福祉会 ワークセンターフレンズ星崎 稲垣伸治 (社福)新潟市中央福祉会 ワークセンターひがし 吉川大幹 (社福)武蔵野千川福祉会 武蔵境ワーキングセンター 佐藤資子	事例報告 (NPO)出愛いの里福祉会 障がい者支援センター出愛いの里 高橋勝茂 (社福)ゆずりは会 エール 清水健一 (社福)三木市社会福祉協議会 はばたきの丘 高垣 愛
14:30	40分	「仕事の環境や工程の見直し(仮)」 菅野 敦	「仕事の環境や工程の見直し(仮)」 菅野 敦
15:10	10分	休憩	休憩
15:20	70分	シンポジウムコーディネータ 菅野 敦 シンポジスト 新堂 薫、稲垣伸治、吉川大幹、 佐藤資子	シンポジウムコーディネータ 菅野 敦 シンポジスト 新堂 薫、高橋勝茂、清水健一、 高垣 愛
16:30	10分	アンケート・お知らせ	アンケート・お知らせ
16:40		閉会	閉会

募集定員 各会場100名

受付申込 添付用紙によりFAXでお申し込みください。折り返し受講票をFAXでお送りします。
当日必ず受講票をお持ちください。(満員になり次第、締め切ります)

受付締切日 5月31日(金)

アクセス

広島会場

ワークピア広島2F桜 広島市南区金屋町1-17
JR新幹線広島駅・JR山陽本線広島駅(在来線)より徒歩7分／広島電鉄「稲荷町」より徒歩1分
<https://www.workpier.jp/access/>

山口会場

宇部興産ビル401・402会議室 宇部市相生町8-1
JR宇部線 宇部新川駅より徒歩約5分／山口宇部空港より車で約10分

講師紹介

社会福祉法人武蔵野千川福祉会
常務理事、チャレンジャー施設長(社会福祉士)

新堂 薫

東京都生まれ。学生時代より千川作業所と後援会活動、社会教育活動を通じて関わりを持つ。1985年に千川作業所に指導員として就職。1987年、チャレンジャー設立とともに異動。1999年にチャレンジャー施設長に就任。2003年に武蔵野女子大学大学院福祉マネジメント専攻科修士課程修了。社会福祉士。2010年9月から「障がい者の働くちから革新塾」の塾長を務める。2013年から「夢へのかけ橋実践塾」の第2期新堂塾がスタートし、2016年9月から2018年9月まで第3期新堂塾の塾長を務める。
2008年12月：第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。



武蔵野千川福祉会 6事業所の事業所別平均給料

	サービス種類	平均給料	サービス内容	支援目的
チャレンジャー	B型・移行支援	95,000円	作業 施設外就労	
武蔵境 ワーキングセンター	B型	59,000円	作業 施設外就労	
ワークイン関前	B型	45,000円	作業 施設外就労	
八幡作業所	B型	36,000円	作業 施設外就労	
ワークイン中町	生活介護	15,000円	作業	
千川作業所	生活介護	8,000円	作業 活動	

武蔵野千川福祉会では6つの事業所で同じようにDMの封入封緘作業を行っています。事業所ごとに仕事の難易度と給料は段階的に変化。「機能分化」というシステムを採用し、利用者さんの能力・働く力に応じて事業所に配属されます。武蔵野千川福祉会全体で利用者さんの働く意欲や能力、ライフステージにあわせた就労事業所が用意されています。

東京学芸大学 教授 博士(教育学)

菅野 敦

北海道出身。大学卒業後、知的障害養護学校(現:特別支援学校)で教員として勤務。その後、養護学校を退職し、知的障がい児・者の学習や発達に関することを学び、研究するために、大学院(筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科)に入学。修了後は、東京学芸大学に勤務。当時、日本で唯一の障がい児教育に関する研究所である特殊研究施設(現:特別支援教育・教育臨床サポートセンター)に所属。一貫して、知的障がい、なかでもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性および、各ライフステージにおける発達課題の解明を行う。さらに、そこから得られた知見をもとに、「生涯発達支援」の視点から特別支援教育や障がい者支援の具体的な指導・支援内容を明らかにし、指導・支援のための方法や教育課程・支援計画に関する研究を目指す。

社会的には、日本発達障害学会理事長、日本発達障害支援システム学会会長、日本特殊教育学会評議員・常任編集委員等を務める。また、地域の児童発達支援事業(発達障害児支援センター)、保健センター、学童保育所、放課後デイ事業等での活動や生活支援に関するアドバイスや生活介護事業所、就労継続支援事業所、特例子会社における就労支援や生産活動に対するアドバイスも多数務める。さらに、2010年9月からの「障がい者の働くちから革新塾」の新堂塾、2013年からの「夢へのかけ橋実践塾」の新堂塾のアドバイザーを務める。



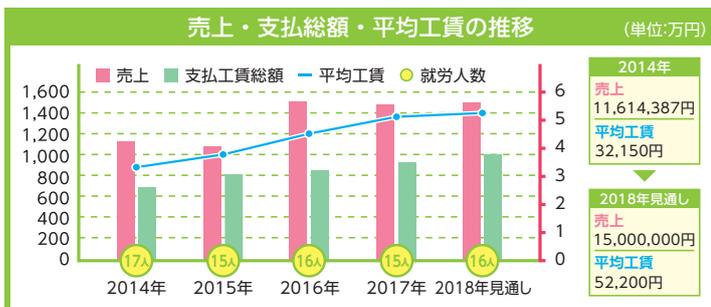
(社福)ゆたか福祉会 ワークセンターフレンズ星崎 (愛知県名古屋市)



副所長 稲垣 伸治

働くちから革新塾(新堂塾1期) 2010年9月~2012年7月

ダイレクトメールの封入封緘から発送代行業務までを事業の柱としています。塾で学んだことは、主になる仕事を決めること。それにより利用者の働く力が育ち、自信に変わり、生産量も拡大してきました。工賃も当初の目標の5万円を達成。現在は1回あたりの受注量も増え、同時に複数の案件が重なるなど、職員がコントロールする生産管理が新しい課題としてあがっています。現場での応用力と安定した運営を目指して、組織で対応できる力をつくることに取り組んでいます。



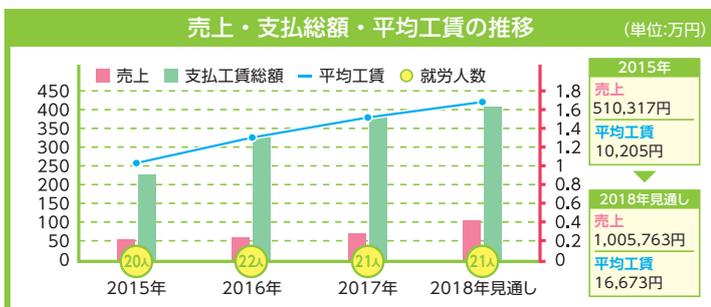
(社福)新潟市中央福祉会 ワークセンターひがし (新潟県新潟市)



主任 吉川 大幹

夢へのかけ橋実践塾(新堂塾2期) 2013年9月~2015年9月

塾に参加していたときは、法人内の別の事業所で私物クリーニングを本格的に開始。当時3万円ほどの平均工賃でしたが5万円の実績を達成しました。その後現在の事業所に異動し、ダイレクトメールやウエス製造などを行っています。これまで利用者に対し「どうやってできるようになるか」という視点で向き合っていたのが「できない人にどうアプローチし、できることを増やすか」という視点を持つようになってきています。この考え方が集团全体の生産力を向上させています。



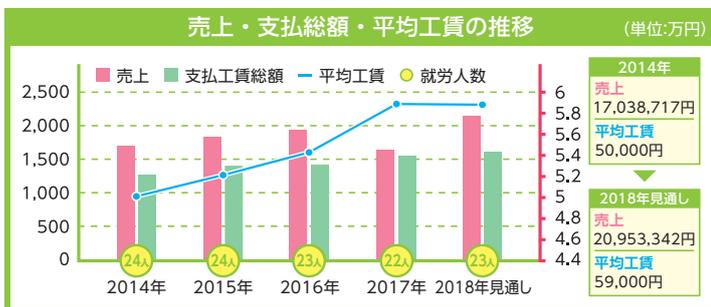
(社福)武蔵野千川福祉会 武蔵境ワーキングセンター (東京都武蔵野市)



所長 佐藤 資子

夢へのかけ橋実践塾(新堂塾2期) 2013年9月~2015年9月

学校案内のカタログ、住宅販売チラシ、化粧品サンプルなどさまざまなダイレクトメールを取り扱う武蔵境ワーキングセンター。塾で学んだのは、一つひとつの作業が毎月の収支にどう関係してくるのか数字で捉えられるようになったことや、働く場の環境整備です。生産管理の視点や利用者へのアプローチを積み重ねたことで、大口、小口などさまざまな案件に対応できるようになりました。現在は、二次、三次の下請からの脱却を図れるよう、取引先の見直しも行っています。



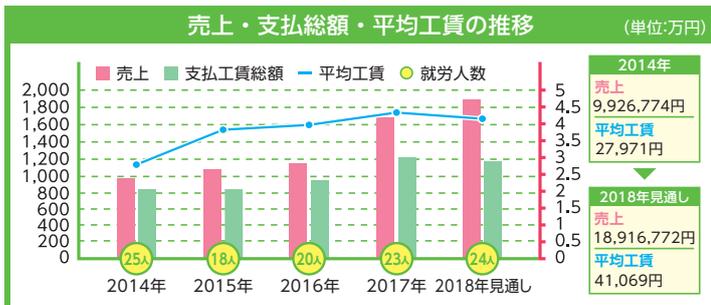


(NPO) 出愛いの里福祉会 障がい者支援センター出愛いの里 (兵庫県姫路市)

主任・営業 **高橋 勝茂**

働くちから革新塾(新堂塾1期) 2010年9月～2012年7月

塾に入って、福祉的発想からの転換が必要なることを学びました。仕事をつくるために営業を開始。売上・工賃・利用者の生産量などを数値で捉えるようになりました。2016年には本格的にDM作業に取り組み、主要な取引先を開拓。2019年にはPマークも取得予定です。入塾前は6,718円だった平均工賃が、2018年度には41,069円を達成。無認可の作業所からスタートした小さな法人でも、実践を重ねることで工賃アップができるという成功体験は、利用者、職員の大きな財産になっています。

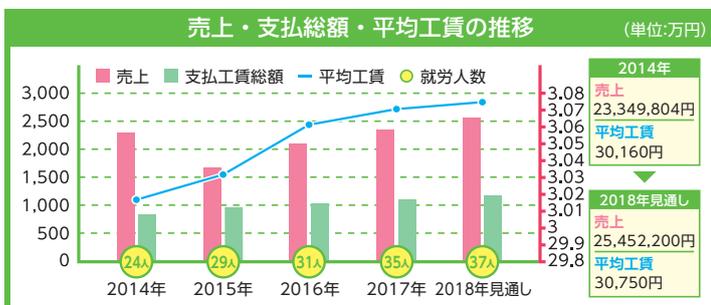


(社福) ゆずりは会 エール (群馬県前橋市)

管理者 **清水 健一**

夢へのかけ橋実践塾(新堂塾3期) 2016年9月～2018年9月

私物を中心としたランドリークリーニング事業、近隣農家からお借りした農地27反でタマネギ、キャベツ、サツマイモ、お米を栽培する農業の2本立てで事業を行うエール。塾で学んだことは「作業」を「仕事」として捉え、生産管理、PDCAサイクルを用いて計画・実行すること、能力を伸ばす働く場の環境づくり等々です。職員全体に工賃向上の意識付け、また利用者で、考え方や目指す方向を共有し一つひとつ実践したことで、今年度は昨年比で売上が約10%増となりました。

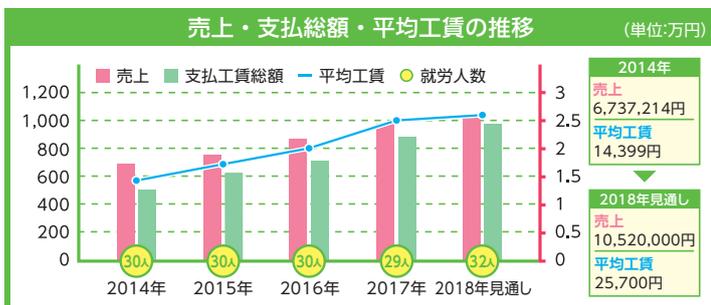


(社福) 三木市社会福祉協議会 はばたきの丘 (兵庫県三木市)

主任 **高垣 愛**

夢へのかけ橋実践塾(新堂塾3期) 2016年9月～2018年9月

ヘルメットを中心とした防災グッズの製造を事業の柱とするはばたきの丘。働く力を伸ばすために、利用者の特性や能力に応じて作業環境を用意したことで、作業班ごとの目標が明確になり、生産力もアップ。リーダーを中心とした作業展開が可能になりました。その結果、昨年度は2名の方の就労が決定。営業面では、取引先企業の各部署に営業をかけ、施設外就労の場が4部署に増え、単価交渉を積極的に行ったことで5種類以上の作業で単価が倍になり売上の増加につながりました。



「夢へのかけ橋実践塾」～働く力を伸ばし工賃を高める～ 第4期新堂塾 9月開講 塾生募集!



新堂塾の目指すこと

どんなに障がいが重くても利用者の持っている能力を尊重し、わかりやすい方法で仕事をして達成感を得ると、やる気を高めそれが成長につながります。能力を活かす職場や仕組みを作り出すために、施設で一人作業になってしまっている仕事を分析し、生産性を高める「ライン・工程方式」の方法を提供します。一人作業からチームでラインを作り流れ作業の役割をになうことでできる仕事が増え、コミュニケーション・対人関係の向上を実感することもできます。仕事を分析して提供する方法を考え、利用者の働く力を育て高い工賃を確保することを目指します。

塾の内容

- ・ 販路開拓、業態の変更や絞り込みなど、現在の事業の見直しを検討し計画を立てます。
- ・ 2年間“PDCA”サイクルで日々実践し、成果を出す取り組みです。
- ・ 半年に1度の間隔で研修会を開催し、塾生は目標の進捗を相互にチェックします。
- ・ 先行施設の紹介や現場の課題解決のためにグループディスカッション、合同研修会などを実施します。

応募資格および条件

- ・ 非営利法人で就労継続支援B型(多機能型を含む)事業所の責任者または職員
- ・ 事業の業態(食品製造、下請け作業、リサイクルその他)は問いません
- ・ 研修会に全回出席が可能なこと
- ・ 施設代表者の推薦書が必要です
- ・ 施設内にインターネットができる環境があること

開講期間

- ・ 2019年9月～2021年8月(2年間)
- ・ 開講式、第1回合同研修会は9月上旬予定
- ・ 以降、研修会は半年間隔で中国地方を中心に開催

申し込み方法

- ・ ステップアップセミナーでエントリーシートをお渡しします
エントリーシートに必要書類を添えて郵送にて提出してください
- ・ ステップアップセミナーに参加できない方は、ヤマト福祉財団のホームページお問い合わせ画面から、応募書類を請求してください

公益財団法人ヤマト福祉財団
〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-18 ヤマト銀座ビル7F
ホームページ: <http://www.yamato-fukushi.jp/>

受付期間

7月1日(月)～8月2日(金)まで(当日消印有効)
選考結果は8月中旬に郵送で通知します

募集人数 最大10名／参加費無料・交通費宿泊費全額支給